施策Ⅰ－４　施設の再構築

将来の人口減少に伴う汚水量の減少などに合わせた施設に再構築していくことが必要となってきます。施設のダウンサイジングや統廃合など、費用対効果を考慮しながら、老朽化した施設の改築を行います。

【主な取組み】

☞中央統合ポンプ場（２０３０（令和１２）年度供用開始予定）

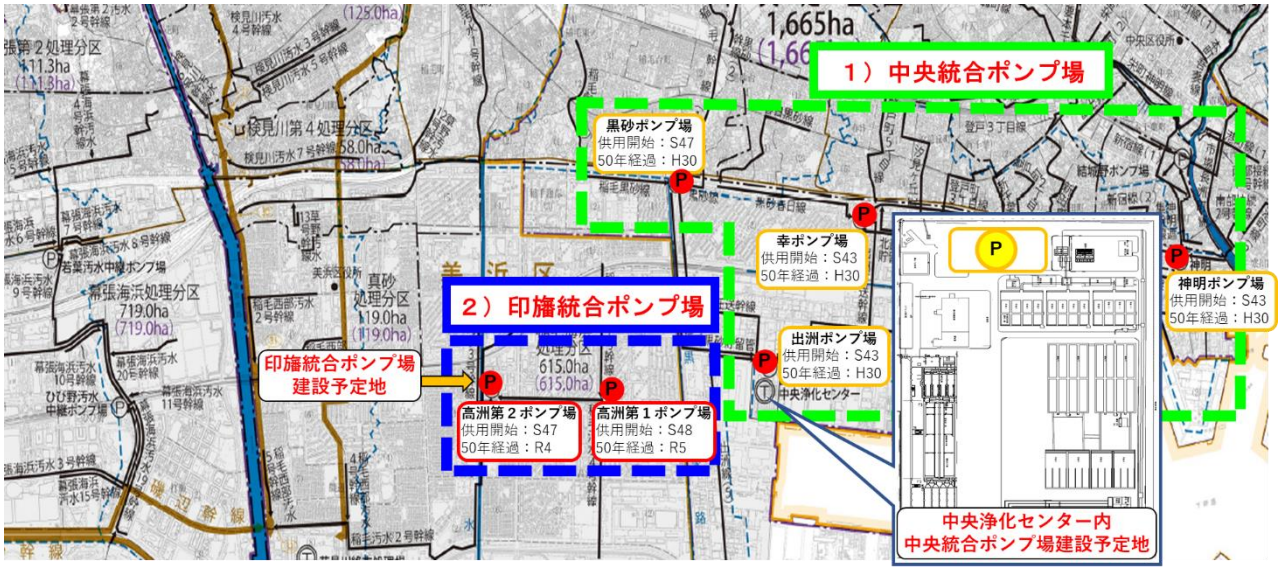
⇒神明、幸、黒砂、出洲ポンプ場の統合

☞印旛統合ポンプ場（２０２９（令和１１）年度供用開始予定）

⇒高洲第１・２ポンプ場の統合

◆中央統合ポンプ場・印旛統合ポンプ場の建設

●供用開始後 50 年を経過し、老朽化が著しい神明・幸・黒砂・出洲、高洲第１・２ポンプ場について、将来人口の減少に伴う汚水量の減少も考慮して、「中央統合ポンプ場」「印旛統合ポンプ場」への施設の統廃合を行います。



具体的取組

取 組 １	**施設の再構築**
概　　要	土木躯体耐用年数（５０年）に達する処理場・ポンプ場施設について、統廃合による施設機能の高度化・耐震化などのメリットを検討し、再構築事業を推進します。 また、ストックマネジメントに基づく施設の更新にあたっては、人口減少社会の到来を見越して、施設の統廃合やダウンサイジングを検討していきます。
主な事業	＜ポンプ場の再構築＞ 中央統合ポンプ場（中央処理区４中継ポンプ場の統廃合） 印旛統合ポンプ場（印旛処理区２中継ポンプ場の統廃合）

実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
中央統合ポンプ場					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
神明遮集幹線		⇒	⇒	⇒	⇒				⇒			
幸遮集幹線							⇒	⇒	⇒			
黒砂遮集幹線					⇒	⇒	⇒		⇒			
出洲遮集幹線							⇒	⇒	⇒			
雨水滞水池撤去			⇒	⇒	⇒							
印旛統合ポンプ場	⇒		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
汚水幹線					⇒	⇒	⇒					
インプット	統合ポンプ場						２箇所					

アウトプット	目標の方向性	現状値（R2）	目標（R14）
統合ポンプ場	増加（↑）	０箇所	２箇所